

令和7年麻薬年間届作成要領

1 届出にあたっての注意点

- ・本届出は、前年の10月1日から9月30日までの麻薬の取扱状況を届け出るものです。
- ・麻薬管理者、麻薬施用者（麻薬管理者のいない施設のみ）、麻薬小売業者は当該施設における麻薬の取扱状況、麻薬研究者は自己の管理している麻薬の取扱状況を届け出ます。
- ・9月30日時点での在庫麻薬がない場合で、かつ、当該一年間に取扱いが無い場合であっても、品名の欄に「在庫無し」等と記載するか、品名、数量等の欄に斜線を引いて届け出てください。
- ・この届出は、定数保管の麻薬、一年間使用せず保管してある麻薬及び使用期限切れ麻薬についても対象ですので、全て記載もれのないよう報告してください。
- ・前年度提出分に誤り等があった場合には、正しい内容に修正したものを再提出願います。

2 届出作成上の注意点

項 目	注 意 点
麻薬業務所の所在地	○麻薬取扱者免許証から転記してください。
名称	○麻薬取扱者免許証から転記してください。
麻薬業務の種類	○自己の属する免許の種別を記載してください。
麻薬免許番号	○麻薬取扱者免許証から転記してください。
氏名	○麻薬取扱者免許証から転記してください。 なお、押印は不要です。
品名	○品目の名称及び含有量（濃度）を記載してください。（例：「MSコンチン錠（10mg）」、「ケタラル（500mg）」） ○単位あたりの含有量の異なる麻薬については、含有量ごとに別品目としてください。 ○年度途中で名称が変更された麻薬については、新しい名称に統一し、数量は旧名称分との合算を記載してください。
単位	○剤形に応じて、最小単位（錠、A（アンプル）、枚、C a p（カプセル）、個、包、本など）で記載してください。 ○瓶入りの原末や瓶入りの散剤は「g（グラム）」とし、小数点第1位まで記載してください。 ※オキノーム散やモルペス細粒は「包」で記載。 ○溶液は「ml（ミリリットル）」とし、小数点第1位まで記載してください。なお、記録がある場合は小数点第2位以上記載しても差し支えありません。 ○バイアル製剤は、1バイアルを複数の患者（患者）に使用している場合は「ml（ミリリットル）」としてください。（1バイアルを1人の患者（患者）のみに使用している場合は「V（バイアル）」で構いません。）

項 目	注 意 点
期始在庫	○令和6年10月1日時点の在庫量を記載してください。 ○令和6年10月1日以降に免許を取得した場合は「0」と記入してください。
受入	○令和6年10月1日から令和7年9月30日までの1年間に譲受等した総数量を記入してください。 ・麻薬卸売業者から購入した量 ・免許の失効した施設から譲り受けた量 ・麻薬譲渡許可により譲り受けた量 ・液剤等において秤量誤差訂正により増えた量 ・原末から倍散を予製した際の倍散の予製量 ・新たに管理に属することになった量（研究者のみ） ・製造・製剤した量（研究者のみ） ○麻薬診療施設において、入院患者から返納され再利用とした分については、上記の量とは別掲で（ ）書きで記載してください。 （調剤済廃棄とした分は計上不要です） ○麻薬小売業者において、麻薬小売業者間譲渡許可により譲り受けた量を（ ）書きで再掲してください。
払出	○令和6年10月1日から令和7年9月30日までの1年間に譲渡等した総数量を記入してください。 ・患者に施用または施用のため交付した量 ・廃棄届により廃棄した数量（調剤済廃棄届による量は計上不要です。） ・事故届を提出した数量 ・麻薬譲渡許可により譲り渡した量 ・液剤等において秤量誤差訂正により減った量 ・原末から倍散を予製した際の原末の使用量 ・管理に属さなくなった麻薬の量（研究者のみ） ・研究のため使用した麻薬の量（研究者のみ） ○麻薬小売業者において、麻薬小売業者間譲渡許可により譲り渡した量を（ ）書きで再掲してください。
期末在庫	○令和7年9月30日現在の在庫量を記載してください。 ○「期末在庫」＝「期始在庫」＋「受入」－「払出」となっていることを確認してください。
備考	○「受入」、「払出」において、麻薬卸売業者から購入したもの、患者に施用または施用のため交付したものの<u>以外の</u>事案について、その内容と数量を記入してください。 例：「廃棄届：5錠」、「事故届：10A」 「秤量誤差（増加分）：5mL」 ○廃棄届のみで廃棄を完了していない場合、「在庫」として記入し、廃棄が完了したら、その旨を備考に記入してください。 ○治験薬について、年間届出後のキーオープンにより、被験者が施用した治験薬が被験薬か対象薬かの区別ができた場合には、年間届の訂正を行ってください。